

事業番号	16 01 01	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	猟銃等講習関係事業			担当課	部局	警察本部	
				課・局・室	生活安全企画課許可事務担当室		
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	police-seikatsuanzenkikaku@pref.lg.jp	
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 1 犯罪のない安全な社会づくり			実施期間	～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	銃砲刀剣類所持等取締法に基づき公安委員会が、猟銃及び空気銃(以下「猟銃等」という)所持者又は猟銃等を所持しようとする者を対象とした各種講習会を実施し、猟銃等の所持に関する法令及び猟銃の使用、保管等の取扱いについて必要な知識、操作及び射撃技能について習得させることにより、猟銃等による事件事故等の発生を防止する。												
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 猟銃等の所持許可を受けようとする者又は現に猟銃等を所持している者(H26.12月現在3,667人)に対し、法令及び猟銃等の使用保管等の取扱いに関する知識を習得させるための講習や猟銃等の操作及び射撃の実技講習を実施している。 ○ 猟銃等の所持許可を受けた者は、3年に1度許可更新があるため、猟銃等の所持者数の33%を対象として各種講習を実施している。 												
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 銃砲刀剣類所持等取締法					県民との協働による実施: 実施は困難						
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)												
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法令に基づく計画的な講習会を実施し、県内における猟銃等の盗難・亡失事案を防止する。 ○ 講習会を通じて法律に基づく厳格な猟銃等の保管管理、携帯運搬、使用について徹底を図り、猟銃等に係る事件事故等の絶無を図る。 												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H28実施内容	H27(当初)	H28(要求)	H28(予算案)	H29					
	1 猟銃等に関する各種講習会・検定の実施	委託 直接	初心者講習、経験者講習、射撃指導員講習、技能講習ほか、技能検定に要する経費	8,457	9,047								
	2 銃砲刀剣類一斉検査の実施	直接	所持許可者に対する一斉検査に要する経費	239	261								
	3 廃銃処理経費	直接	廃銃処理に要する経費	248	325								
			合計	8,944	9,633		0						
事業コスト	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末(見込)	H28		H29目標	
		当初予算	11,600	8,944	9,633	目標				成果	達成状況		
		補正予算											
		合計(A)	11,600	8,944	9,633	0							
	Aの財源	一般財源					猟銃等講習会の実施	38回	38回	39回			
		県債											
		国庫支出金											
		その他	11,600	8,944	9,633	0							
	決算額(B)	6,093											
概算人件費	職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0								
	概算人件費(C)	83	83	83	0								
	概算事業費(B(A)+C)	6,176	9,027	9,716	0								
指摘事項等への対応		(指摘事項等)				(対応)							
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点													